

補てんで大激論

一般会計予算を可決

3月定例会を3月5日から24日までの20日間の会期で行い、初日に町長が施政方針を述べました。(15ページ参照)

平成27年度当初予算は、予算審査特別委員会を設置して分科会ごとに審査を行いました。

新年度当初予算17議案、条例改正や各種計画の変更など25議案、平成26年度補正予算17議案、議員提出の議会基本条例など4議案を審議し、原案どおり可決しました。

しかし、一般会計予算では、国保会計への財源補てん分の繰り出し金5000万円をめぐり、賛否が分かれ大激論となりました。(7ページ参照)



ふるさと応援基金

ふるさと納税額の大幅増による
記念品代・宅配料金などの経費増

250万円



地方創生先行型事業

交流・滞在による本町の魅力発信と
新たな価値創造事業など

4920万円

平成26年度 一般会計補正予算 主な事業